

正校

上田文齋著
小學人體問答

全

四三

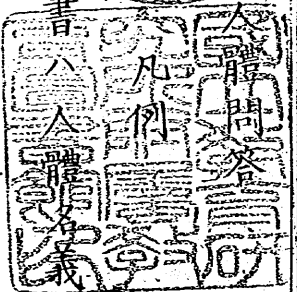
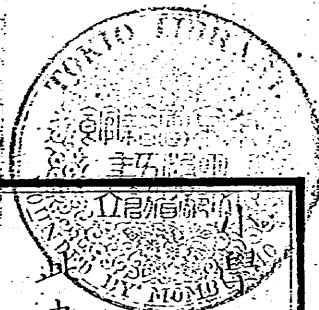
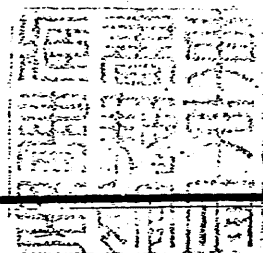
271
8
197

一本

K110
-4.5a

K110.49

5.5a



明治九年圖書局交付

此書ハ凡人體義ヲシテ小學生徒ニ記憶ナサ
シメンカ為メニ假ニ問答ヲ設ケ其大略ヲ編
輯スル者ナリ

○ハ問ノ標ナリ □ハ答ノ標ナリ

一圖式ハ木版ヲ用ユルヲ以テ原圖銅版ノ如ク
纖細精密ヲ盡ス丁紙ハス唯タ人身形器ノ位

凡人體義

凡例

明治九年五月十一日版権完結

上田文齋著

正校 小學人體問答

大坂 威書堂發兌

小學人體問答

凡例

此書ハ人體名義ヲシテ小學生徒ニ記憶ナリ
シメンカ為メニ假ニ問答ヲ設ケ其大略ヲ編
輯スル者ナリ

一 問ノ標ナリ □ハ答ノ標ナリ

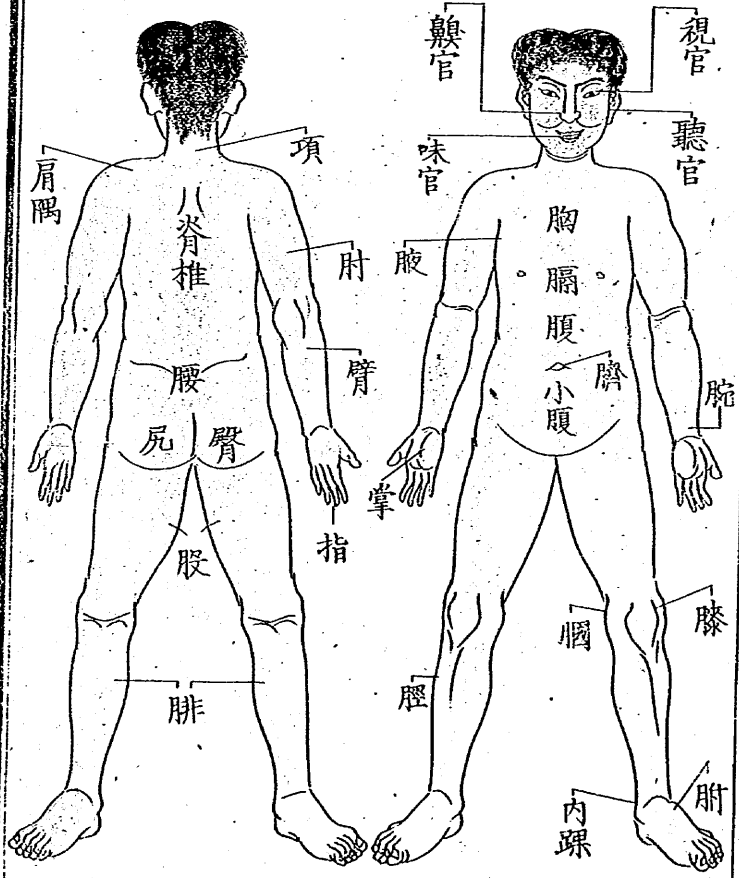
一 圖式ハ木板ニ用ユルヲ以テ原圖銅板ノ如ク
綴細精密ヲ盡ストルハス唯々人身形器ノ位

小學人體問答

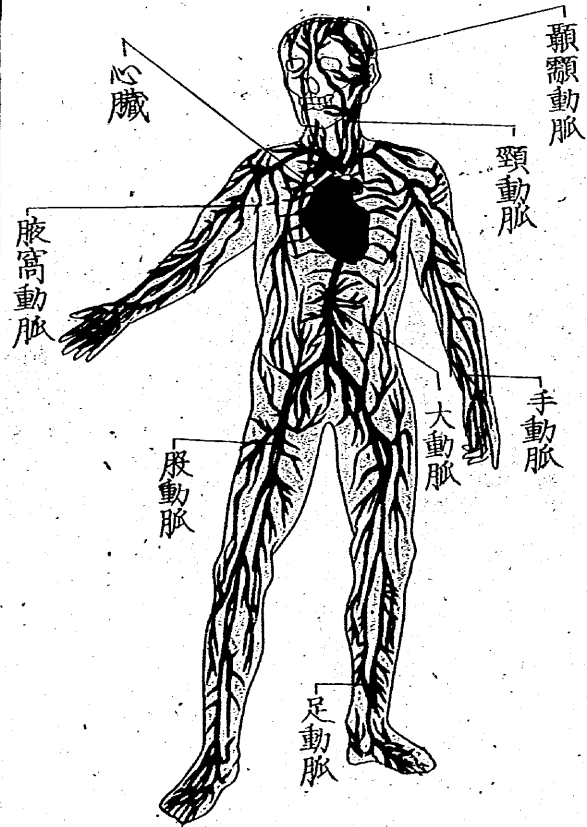
凡例

一

全體背面之圖



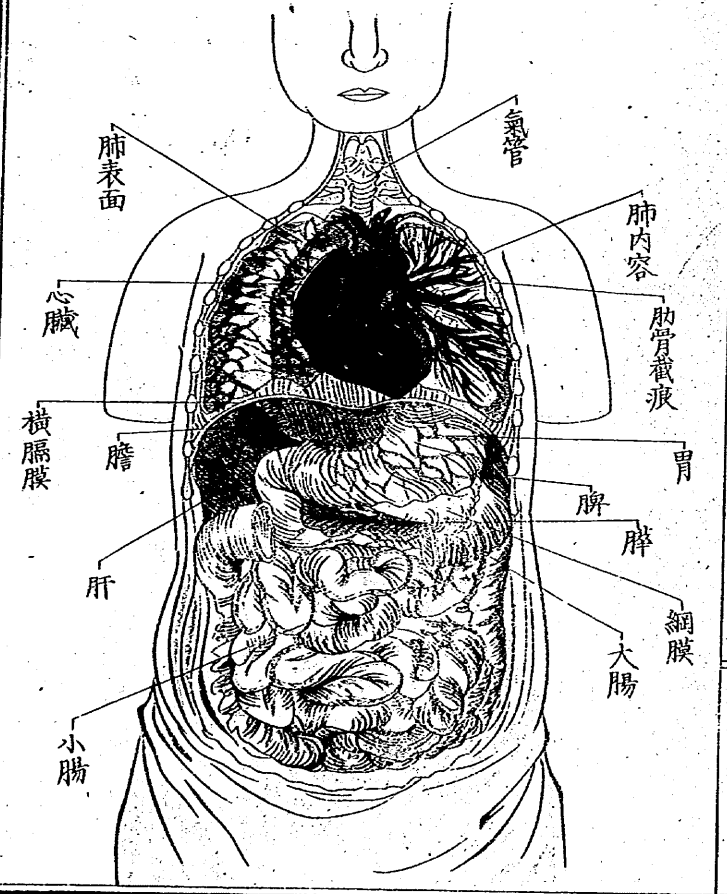
動脈循環之圖



小學
豐明終

再啟

人體之胸腹內臟位置之圖



再版

正校 小學人體問答

第一章

上田文齋 輯錄

○ 人ハ地球ニ於テハ如何ナル物歟ナルヤ
ヒト チキウジヤウ オイ

□ 地球上動物中ノ靈長ニシテ直立歩行スル
チキウシヤウドウブツ ナウ イキタルモノノカカシラ オウクリウホカウ スニタテアユム

モノナリ

○ 人歟ハ幾部ニ大區別シテ云可キヤ
ジタイ イブ オイクバツ オホソケ

□ 分テ三部トス
ソケ サンブ

小學人體問答

小學人體問答

○三部トハ何レヲサシテ云フ可キヤ

□上部シヤツブ 中部チュウブ 下部ゲブ

○上部トハ何レノ部分ヲサシテ云フ可キヤ

□胸ムネヨリ上ノ部分ヲサシテ云フ

○中部トハ何レノ部分ヲ云フ可キヤ

□胸ムネヨリ以下イカモ臍ヘリニ至ル部分ヲサシテ云フ

○下部トハ何レノ部分ヲ云フ可キヤ

□臍ヘリノ部分ブブンヨリ以下イカモヲサシテ云フナリ

再版

○人ノ五官トハ何レノ部ヲ云フ可キヤ

□視官シクワン 聽官テイワン 味官ミワン 鼻官ヒクワン 觸官シュクワン 是ナリ

○視官トハ何ノ作用ヲ主ルヤ

□眼ガンナリ眼ハ物色モノシヨク形像ケイゾウ長短チヤウテン大小ダイセウ動靜ドウゼイ遠近エンキン等トウ

ヲ見ルコトヲ主ドル故ニ視官ト云フ

○聽官トハ何ノ作用ヲ主ルヤ

□耳ミミナリ耳ハ聲音セイオン物響モノヒビヲ聞クコトヲ主ドル故

ニ聽官ト云フ

○味ミ官タマシトハ何ナニノ作用サツヨウヲ主ツクドルヤ

□口クハ舌ゼツナリ口舌ハ飲食シヨウノ五味ゴミヲ味アジヒ知シル

ヲ主ツクドル故ユニ味官ト云フ

○嗅キウ官タマシトハ何ナニノ作用サツヨウヲ主ツクトルヤ

□鼻ハナナリ鼻ハ物モノノ香臭カウシウヲ嗅カグコヲ主ツクドル故ユ

ニ嗅官ト云フ

○觸シヨク官タマシトハ何ナニノ作用サツヨウヲ主ツクドルヤ

□全身ゼンシンノ皮膚ヒヲ云皮膚ハ物モノニ感カン觸シヨクシテ寒熱カンネツ

再版

痛痒ツツイウヲ知チ覺カクスル故ユニ觸官ト云フナリ

第二章

○全身ゼンシンニ放オキテ九竅クウセウトハ何ナニノ處トコロヲサシテ云フヤ

□眼ガンニ個コ 耳ミミニ個コ 鼻ハナニ個コ 口クハニ個コ 前陰ゼンインニ個コ 後陰コウインニ個コ

一箇イツコ等トウヲ合ガフシテ九竅ト云フナリ

○眼ガンノ正セイ中チュウニ在アルモノヲ何ト云フヤ

□瞳子トウシト云フナリ

○瞳子トウシノ外ガイ周シュウヲ圍ヰ繞ニョウスルモノヲ何ト云フヤ

□ 虹彩ト云フナリ

○ 虹彩ノ徧圍ノ白キ所ハ何ト云フヤ

□ 白膜ト云フナリ

○ 眼ヲ保護スルモノハ何ト云フヤ

□ 瞼ト云ヒ又眼胞ト云フナリ

○ 瞼ニ在ル毛ハ何ト云フヤ

□ 瞼毛ト云フナリ

○ 兩眼ノ上部ニ在ル毛ハ何ト云フヤ

□ 眉毛ト云フナリ

○ 眉毛ノ生ズル所ノ骨ハ何ト云フヤ

□ 眉稜骨ト云フナリ

○ 眉稜骨ノ上部ノ骨ハ何ト云フヤ

□ 額骨ト云ヒ又前頭骨ト云フナリ

○ 額骨ノ左右ノ部分ヲ何ト云フヤ

□ 顳顬部ト云フナリ

○ 額骨ノ正中上部ハ何ト云フヤ

八尋人真問答

□ 顚門ト云フ此内ニハ腦ノ前葉ヲ納ム

○ 顚門ノ上ヘ頭ノ正中ヲ何ト云フヤ

□ 顚頂骨部ニシテ腦ノ中葉ヲ納ム

○ 後口頭ハ何ト云フヤ

□ 後頭骨部ト云フ腦ノ後葉ヲ納ム

○ 後頭骨ノ下部ハ何ト云フヤ

□ 項窩ト云フナリ

○ 腦ハ如何ナル作用ヲ成スヤ

再駁

□ 腦ハ靈液ヲ製造シテ神經ヲ養フ處ナリ

○ 口ノ下部ハ何ト云フヤ

□ 頷ト云フナリ

○ 頷ノ下部ハ何ト云フヤ

□ 咽喉部ト云フナリ

咽ハ後方ニ在リテ食物ヲ通ズル管ヲ云

喉ハ前方ニ在リテ呼吸氣ヲ通ズル管ナリ

○ 咽喉ノ兩傍ハ何ト云フヤ

□頸ト云フナリ

○頸ノ下部左右ハ何ト云フヤ

□頸ト云フナリ

第三章

○人軀ノ中ナ最モ大ナル部ヲ何ト云フヤ

□胸ト云ヒ又軀体ト云フナリ

○胸ハ何臓ノ部ト云フヤ

□肺臓部ト云フ
正中ノ下部ヲ心臟部ト云フ

再版

ナリ

○神經トハ何ノ作用ヲ成スヤ

□五官作用ノ起源ニシテ精神ノコトナリ

○顔面トハ何レヲサシテ云フヤ

□頭ノ前面ヲ云フナリ

○鼻ノ兩傍ヲ何ト云フヤ

□腭骨部ト云フナリ

○腭骨ノ下部ヲ何ト云フヤ

□ 頰ホウト云フナリ

○ 口クチヲ圍キ繞ビスルトコロヲ何ナニト云フヤ

□ 唇シブト云フナリ

○ 唇シブノ周シウ圍ヰニ在アル毛ケハ何ナニト云フヤ

□ 鬚シト云フナリ

○ 齒シハ何ナニノ作サ用ヨウヲ主ツドルヤ

□ 齒ハハ食物シヨクヲ咀ソ嚼シヤクスルヲ主ツトルナリ

○ 齒ハノ列ツラナル肉ニクハ何ナニト云フヤ

再版

□ 齒シ齶コト云フナリ

○ 胸ムネノ左サ右ウハ何ナニト云フヤ

□ 胸ムネ肋ロクト云フナリ

○ 胸ムネノ下カ部ブヲ何ナニト云フヤ

□ 横ヨコ膈カク部ブト云フナリ

○ 横ヨコ膈カクノ下シ部タヲ何ナニト云フヤ

□ 胃イ臟ゾウ部ブト云フナリ

○ 胃イ臟ゾウ部ブノ右ミ部タハ何ナニト云フヤ

ノミ

二
ヒ

□ 肝臟部ト云フナリ

○ 胃臟部ノ左邊ハ何ト云フヤ

□ 脾臟部ト云フナリ

○ 胃臟部ノ下邊ハ何ト云フヤ

□ 腹ト云フ又大腸部ト云フナリ

○ 臍ハ何ノ用ヲ成スモノナルヤ

□ 臍ハ母ノ腹内ニ在リシ時臍帶ヨリ養レタル斑痕ナリ

再版

○ 臍ノ下部ハ何ト云フヤ

□ 小腹ト云フ又膀胱部ト云

女ニ在テハ又子宮ヲ藏ス

○ 臍ノ左右ハ何ト云フヤ

□ 腸腹ト云フナリ

○ 胸ノ後ロヲ何ト云フヤ

□ 背部ト云脊柱骨部ト云フナリ

○ 脊柱骨ハ何ノ作用ヲナスヤ

□ 上カミハ頭トウ骨コツヲ受ウケケ下シモハ腰ヨウ骨コツニ連レン接セツシ入ジン脉マツノ

運動ウンドウヲ自由ジユウニナス骨ホネナリ

○ 脊セ柱ボ骨ネノ下シタ部ホ臍ガノ後ウシ口クニ當アタルトコロヲ何ナニト

云イハフヤ

□ 腎ジン臟ゾウ部ブト云イハフナリ

○ 腎ジン臟ゾウハ何ナニノ作用ハタラクヲナスモノナルヤ

□ 腎ジン臟ゾウハ小便セウビンノ出デル根コン源ゲンナリ

○ 腎ジン臟ゾウ部ブノ下シモ邊ヘハ何ナニト云イハフヤ

□ 腰ヨウト云イハフ又マタ薦セン骨コツ部ブト云イハフナリ

○ 薦セン骨コツノ下シタ邊ヘハ何ナニト云イハフヤ

□ 臀テン尻カウト云イハフナリ

第四章

○ 四シ肢シトハ何ナニレノ所トコロヲ云イハフヤ

□ 手テ右ミドリ左ヒダリ足ツク右ミドリ左ヒダリ等トウヲサシテ云イハフナリ

○ 上ウエ肢シトハ何ナニノ所トコロヲ云イハフヤ

□ 兩リヤウ手シュヲサシテ云イハフナリ

○手テハ何ナニレノ所トコロニ連接レンセツスルヤ

□肩隅ケンクマニ連接レンセツスルナリ

○肩隅ケンクマノ次ツヲ何ト云フヤ

□膊ハシト云フナリ

○膊ハシノ内方ウチノカタ凹アウカンノ所トコロヲ何ト云フヤ

□腋窩アキクワト云フナリ

○膊ハシノ次ツギヲ何ト云フヤ

□肘チウト云フナリ

再版

○肘チウトハ何ナニレノ部ブヲサシテ云フヤ

□肘チウトハ膊ハシト臂ヒトノ間マヲ云フナリ

○肘チウノ次ツギヲ何ト云フヤ

□内方ウチノカタ曲マカ凹アウスル所トコロヲ尺沢シヤクタクト云フ其ソノ外方ソトノカタハ臂ヒ

ト云フナリ

○臂ヒノ次ツギヲ何ト云フヤ

□手腕シユヅト云フナリ

○手腕シユヅノ次ツギヲ何ト云フヤ

□ 手^テ掌^{ヒラ}ト云フナリ

○ 手^テ掌^{ヒラ}ノ次^ツギヲ何ト云フヤ

□ 指^シト云フナリ

○ 指^シノ先^サキニ在^アルモノヲ何ト云フヤ

□ 爪^{ツメ}ト云フナリ

○ 指^シノ内^{ウチ}ニ於^{オイ}テ太^{フト}ク短^{ミジカ}キモノヲ何ト云フヤ

□ 大^{タイ}指^シ又^{オホ}拇^ボ指^シト云フナリ

○ 其^{ソノ}次^ツギノ指^シハ何ト云フヤ

再版

□ 食^{シヨクシ}指^シ又^{マタ}ハ示^ジ指^シト云フナリ

○ 指^シノウチ最^{モト}モ長^{ナガ}キ指^シヲ何ト云フヤ

□ 中^{チュウ}指^シト云フナリ

○ 其^{ソノ}次^ツギノ指^シハ何ト云フヤ

□ 無^ム名^{メイ}指^シト云又環^{クワン}指^シト云フナリ

○ 其^{ソノ}次^ツギノ最^{モト}モ小^{チホ}ク短^{ミジカ}キ指^シヲ何ト云フヤ

□ 小^{セウ}指^シト云フナリ

○ 指^シノ聚^{シュウ}握^{アク}シタル^{カタチ}状^{カタチ}ハ何ト云フヤ

□握拳ト云フナリ

○手ハ何ノ作用ヲナスヤ

□物ヲ握持スルヲ主トルナリ

○下肢トハ何レノ所ヲサシテ云フヤ

□兩足ヲ云フナリ

○足ハ何レノ所ヨリ連接スルヤ

□足ハ腰骨ヨリ連接スルナリ

○腰ヨリ以下膝迄ヲ何ト云フヤ

□股ト云フナリ

○膝頭ノ後ヲ何ト云フヤ

□脛ト云又委中ト云フナリ

○膝ノ次ギハ何ト云フヤ

□前方ヲ脛ト云後方ヲ腓ト云フナリ

○脛ノ下モヲ何ト云フヤ

□跗ト云フナリ

○跗前左右へ突出シタル骨ヲ何ト云フヤ

□ 蹠骨ト云フナリ

○ 踝骨ノ下ヲ何ト云フヤ

□ 踵ト云フナリ

○ 踵ノ前方ヲ何ト云フヤ

□ 蹠ト云フナリ

○ 蹠ノ中央凹ナル所ヲ何ト云フヤ

□ 足心ト云又湧泉ト云フナリ

○ 蹠ノ前方ノ指ヲ何ト云フヤ

□ 趾ト云フナリ

○ 足ハ何ノ用ヲナスヤ

□ 路ヲ歩ミ又物ヲ踏ムヲ主ドルナリ

第五章

○ 人躰ノ中最要ニ扱フ可キ部分ハ何部ヲサシ

テ云フヤ

□ 兩眼 鼻下 結喉 胸部 兩脇 辜丸

動脈 等ノ部分ハ常ニ謹慎シテ損傷スル

ト録下ノ本明也

「勿ル可シ

○動脈トハ何レノ所ニ在ルヤ

□顛顚

耳前

兩頰 頷下

腋窩 脇下

腕前 手脈

兩股

前脛

跗前 足脈

右ノ部分ハ

動脈外皮ニ

搏動シテ

最大動脈ナリ

小學人體問答終

再版

校正 增補 小學人體問答

上田文齊著

初編二冊 二編一冊

此書ハ西洋解剖生理ノ說ニ由テ人體外形内狀諸臟
 衆器ノ名稱ヲ小學生徒ニ記憶セシメ尚吾人危險ノ損
 害ヲ歷ガ爲ニ假ニ問答ヲ設ケラレシ書ナリ郷尚キニ初編
 發閱スル處頗ル世ニ公布シ五月ニ亘ラバシテ梓刻撰
 糊ス故ニ再刻ヲ先生ニ希望ス時ニ其需ニ應ラレテ神
 經生理作用ノ義ヲ今茲ニ補綴ヒラル最モ此書ハ
 簡易ニシテ幼童ト雖モ衛生ノ要旨ヲ頌解シ易キ
 一此ニ勝ル者ナシ

K110-4.1a

校正 小學人體問答附圖

人體外部、骨一對
全骨格之圖一對

同編著 暗射圖

全體外部、骨一對
全骨格之圖一對

此圖ハ合衆國斯密士氏ノ原書中ヨリ模寫シテ
人體全身ト骨格トヲ一對ノ軸トス最モ此圖ハ
表裏ヲ對照シ骨格ノ幅ハ其成テ顯シ全身ハ
外表面ノ各部分ヲ指ス依テ此圖ヲ教場ニ懸ケ
テ暗射セシムレバ恰モ實地ニ試ルガ如シ

定價九錢

明治八年十二月 出版
同 九年五月十一日 版權免許
同 九年十月六日 再版御届
同 年十月 刻成

著者

大阪府平氏

上田文齋



第三大區六小區新町通四丁目
四十三番地

同府平氏

前川善兵衛

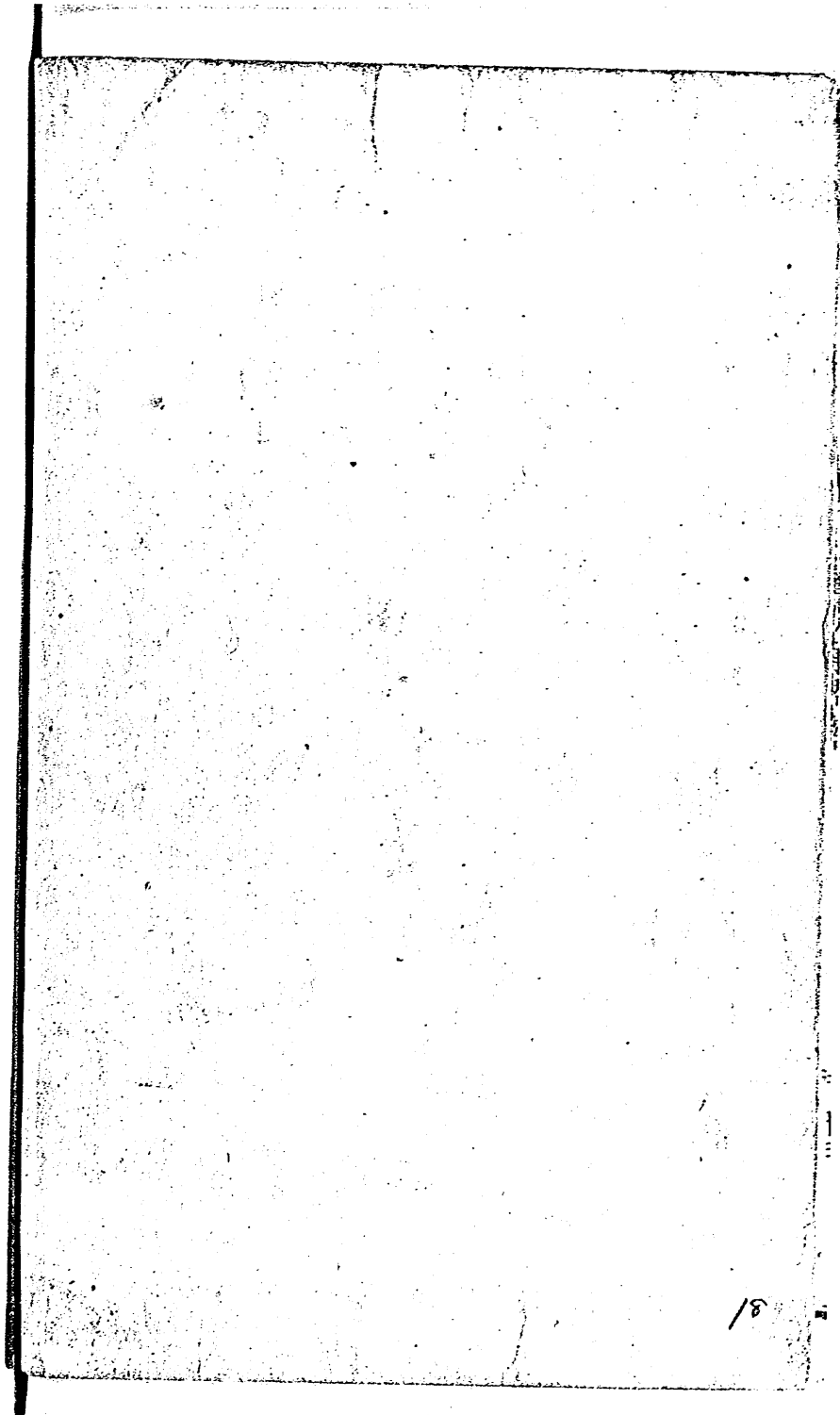
第一大區七小區南久宝寺町四丁目
三十五番地

前川宗七

同町支家

出版人

同



18

「勿ル可シ

○動脈トハ何レノ所ニ在ルヤ

□ 顛顚 耳前 兩頰 頷下 腋窩 脇下 腕前 手脈 兩股

前腰 跗前 足脈

右ノ部分ハ動脈外皮ニ搏動シテ最モ大動脈ナリ

小學人體問答終

再版

校正 增補 小學人體問答

上田文齋著 初編二冊 二編一冊

此書ハ西洋解剖生理ノ說ニ由テ人體外形内狀諸臟器ノ名稱ヲ小學生徒ニ記憶セシメ尙吾人危險ノ損害ヲ履ガ爲ニ假ニ問答ヲ設ケラレシ書ナリ嚮キニ初編發刊スル處頗ル世ニ公布シ五月ニ亘ラズシテ梓刻撰糊ス故ニ再刻ヲ先生ニ希望ス時ニ其需ニ應ラレテ神經生理作用ノ義ヲ今茲ニ補綴ヒラル最モ此書ハ簡易ニシテ幼童ト雖モ衛生ノ要旨ヲ頌解シ易キ

K110-4.1a

校正 小學人體問答附圖

同編著 暗射圖

人體外部ノ骨一對
全骨格之骨一對
全體外部ノ骨一對
全骨格之骨一對

此圖ハ合衆國斯密士氏ノ原書中ヨリ模寫シテ
人體全身ト骨格トヲ一對ノ軸トス最モ此圖ハ
表裏ヲ對照シ骨格ノ幅ハ其成テ顯シ全身ハ
内外部分ノ名唱ヲ指ス依テ此圖ヲ教場ニ懸ケ
テ暗射セシムレバ恰モ實地ニ試ルガ如シ

定價九錢

明治八年十二月 出版
同 九年五月十一日 版權免許
同 年十月六日 再版御届
同 年十月 刻成

著者

大阪府平民

上田文齋



同府平民

前川善兵衛

出版人

同

前川宗七

同町支家

第三大區六小區新町通四丁目
四十三番地

第一大區七小區南久堂寺町四丁目
三十五番地

